

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第50号 2021年10月1日

横浜市港北公会堂は10月1日より使用可能となることが発表されました。しかし、新型コロナウイルス感染症の状況が未だ厳しいこと、及び、公演再開の為の諸準備時間が必要なため、

第53回演奏会（2021年11月21日）

（出演：カルテット・アマービレ 弦楽四重奏）

第54回演奏会（2022年1月16日）

（出演：AYAME アンサンブル・バロック 古楽器四重奏）

は中止（延期）とし、第55回演奏会（2022年3月20日）より公演再開を目指すことに致しました。（【2】今後の予定（先取り情報）をご覧ください）公演を楽しみにされていた皆さまにはまことに申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。なお、延期日程等の詳細は決定次第お知らせいたします。

そのため、今回の「♪ジョイコンNEWS♪」も簡易版（変則的な編集）でお届け致します。

【もくじ】

【1】ジョイコン出演者との交流広場

【2】今後の予定（先取り情報）

【3】“のん”の音楽雑記帳♪『ゴルトベルク変奏曲』

【1】ジョイコン出演者との交流広場

◎第53回ジョイフルコンサート（11月21日予定）は中止（延期）となりました。

●過去出演された方々の「メッセージと動画」をご紹介します。

《1》神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団のメッセージと動画

（2013年11月17日（日）第6回ジョイフルコンサートに出演）

=====

『お世話になってから、もう8年です。その間には、メンバーは転居などで少し代わりましたが、J.ノット氏率いる東京交響楽団との共演や関東・関西方面で活動をしました。本年（2021）の10月24日には大森福興教会でジョスカン・フェスティバルのシンポジウムを彩る予定です。下記のYouTubeでは古典曲をご覧ください。いずれライブで、トレードマークの現代曲をお聞きいただきたいです。
<https://ykv.c.jp/jp/>』

『ヴィオラ・ダ・ガンバ コンソート ～クリスマス音楽のひとつ～』2020.12.05
東京：小山台会館ホール（演奏：神戸愉樹美、小林瑞葉、折原麻美、小澤絵里子。
ご案内：加納民夫）より演奏部分を3曲です。

ジョスカン・デ・プレ：《アヴェ・マリア》

本年が没後500年のルネサンス時代のフランスの作曲家で、ダ・ビンチやミケランジェロがいたイタリアでも活躍しました。最初の旋律を各パートが追いかけ、最後の「神の母よ、私を覚えてください。アーメン」という大切な言葉のところで、音が縦に揃ってハモリます。

<https://youtu.be/R2iQZ72yieg>

J. S. バッハ：コラール集から《いざ来ませ、異邦人の救い主》BWV659

待降節の名曲です。コラール旋律が追いかける上にソプラノ声部がイタリア風に華麗に装飾します。16世紀の日本にポルトガル宣教師が、オルガンの代わりにガンバ・コンソートで、ミサを荘厳に挙げようとしたことからヒントを得ました。始めにシンプルなコラールを演奏しています。

<https://youtu.be/8cys28uGLv4>

D. コンセイサン (1549~1597) : 戦い

ポルトガルの作曲家です。当時は日常茶飯だった戦いの様子が描かれています。まず交渉、決裂、大砲が鳴る、トランペットは鳴り、戦闘開始、馬のいななきも聞こえます。

<https://youtu.be/TKvD5F7aqKE>

★神戸さんメッセージと動画ありがとうございます。

=====

《2》Musica Essence さんのメッセージと動画

(2013年9月15日(日)第5回ジョイフルコンサートに出演)

=====

『Musica Essence 代表の中山です。昨年より続くコロナ禍により定期公演が2018年から止まっていましたが、今年の12月5日(日)に第7回定期公演を開催することになりました。前半は中山作曲による新曲の初演も含めたクラシカルな公演、後半はクリスマスの楽曲によるクリスマスコンサートとなっております。またコロナ感染が広がる直前の昨年1月に新しいCDのための録音を終え、インターネット上での有料配信を行っております。定期公演、CDともにご興味のある方はオフィシャルサイトをご確認ください。感染対策をし、たくさんの方のご来場をお待ちしております。』

オフィシャルサイト

<http://musicaessence.ninja-web.net/>

Youtube (再生リストに3曲アップロードしてあります)

https://www.youtube.com/watch?v=c-x4duHShwQ&list=PLXG1spXHPjhBy0nH0q_lQtnnVzu16XZQC

- ① 三本桜
- ② 春の歌
- ③ エル・カミーノ・リアル

★中山さん素敵なメッセージと演奏動画ありがとうございます。

=====

《3》飯島 諒さんのメッセージと動画

(2013年7月21日(日)第4回ジョイフルコンサートに出演)

=====

『皆様ご無沙汰しております。以前ジョイコンでお世話になりました、フルートの飯島諒と申します。吉田様より出演が2013年と伺い、もう8年も経ってしまったのかと、時の経つのを早く感じる年齢になりました。』

さて、私は現在南の島、沖縄でのんびりバカンス...というわけではなく、昨年より沖縄県立芸術大学でフルートを教えております。この移住とコロナ禍が重なり、沖縄に来てから以来一度も島から出られずとても寂しく思っていたところ、吉田様よりメールを頂きまして嬉しく、また昔を思い出し懐かしく感じております。本来であれば毎月の様に関東に戻り演奏活動をする予定でしたが、全てキャンセルとなってしまい、今に至ります。

あの頃の自由に演奏できる環境が今となっては夢のように感じます。だからこそ、これから徐々にではありますが再開される生演奏には特別感もあるかと思えます。今後再開されるジョイコンをより一層楽しんで下さい！
またいつかどこかでお会いできる事を楽しみにしております。』

さて、早速ではありますが、私が自宅で撮影した動画を3つ程お送り致します。

全てピアノはジョイコンでも共にした妻の飯島未来です。

①エネスコ作曲 カンタービレとプレスト
<https://youtu.be/oUhMUAJaCaw>

この演奏は昨年本当に何も演奏活動が出来ず、有り余ったエネルギーが詰まった、初めて自宅で撮影した動画です。

②ドップラー作曲 アンダンテとロンド
https://youtu.be/AI_SXskb6v4

もちろん生演奏に勝る物はありませんが、動画だからこそ可能な物をお届けしようと作成致しました。

③モシュコフスキー作曲 ピアノ協奏曲 第1楽章
<https://youtu.be/PWdorrhbJa0>

さらに分裂します。そして自宅で合成ができる機材を揃えました（笑）

この曲は妻の一番好きな曲だそうで、いつかオーケストラと共演したいと願っていたのですが、こんな形で実現しました。こちらはフルートオーケストラ用に編曲も私がしております。大学業務の合間ではありましたが、準備期間3ヶ月、撮影1ヶ月、編集1ヶ月とかかった超大作です。しかし、イマイチ再生数が伸びませんので、皆様のお力をお借りできればと思います。

④（アンコール①）ゴーベール作曲 マドリガル
https://youtu.be/YL_vxuULh2E

沖縄に来て青い海を見ていたら、ふとこの曲のイメージが湧いてきて演奏してみました。

そして図々しくもう一つ、、、

⑤（アンコール②）サンサーンス作曲 動物の謝肉祭より水族館
https://youtu.be/2mLGdZ_Me1o

フルートオーケストラとピアノ、そしてトイピアノを使って演奏しています。こちらの曲も編曲から行いました。撮影は美ら海水族館です。

★たくさんの動画とメッセージ送っていただきありがとうございます。
このようにメルマガを使っていただけるのもとてもうれしく思います。

=====

《4》矢澤一彦・大原亜子さんのメッセージ
(2013年3月17日(日)第2回ジョイフルコンサートに出演)

=====

『ジョイフルコンサートでは大変お世話になり本当にありがとうございました。コロナの中、今、お休みになっているのですね。とても残念な事です。ジョイコンのメルマガジンの取り組みは、ファンの方々にとって大変嬉しいと想像致します。残念ながら私共は動画を持っておりませんので、メッセージだけとさせていただきます。このような有難いお申し出を頂き心がとても温かくなりました。本当にありがとうございます。』

私共は少しずつ演奏していて10月28日(木)18時よりイギリス館でコンサートを行います。モーツァルト、シューマン、バッハの作品を演奏します。詳しくは、「ピアニスト矢澤一彦・大原亜子のホームページ」をご覧ください。
<https://kurotsugumi.jimdofree.com/コンサート/>
ご都合のつく方是非おいでください。』

★矢澤さん、大原さんメッセージありがとうございました。(A.N)

◎ジョイコン出演者の方々からメッセージと動画を寄せて頂きました。
動画をご覧いただき感想などを下記メールアドレス宛にお寄せ頂ければ幸いです。
<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

【2】今後の予定（先取り情報）

◎第55回演奏会（2022年3月20日）より再開予定です。
なお、第53回演奏会、第54回演奏会は中止（延期）します。

■第55回コンサート■

◇2022年3月20日（日曜日）14時開演

◇出演：葵トリオ（ピアノ三重奏）

◇プログラム（予定）

◆モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ハ長調 K. 548

◆リーム：見知らぬ土地の情景Ⅲ

◆シューベルト：ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調 D898

◇会場：横浜市港北公会堂（東急東横線 大倉山駅より徒歩7分）

◇予約受付開始：2022年1月17日（月曜日）午前9時より

★プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

【3】“のん”の音楽雑記帳♪『ゴルトベルク変奏曲』

J. S. バッハの『ゴルトベルク変奏曲』。曲名だけ知っているとか、アリアを聴いたことがあるけれど曲名は知らなかったという人もいらっしゃるのではないのでしょうか？

『ゴルトベルク変奏曲』にはこんなエピソードがあります。
カイザーリンク伯爵は病気がちで眠れぬ夜を過ごすことが多くありました。彼の邸宅に寄宿していたゴルトベルク（バッハのレッスンを受けていた少年）は、伯爵のために夜にチェンバロを演奏するのを常としていました。伯爵は「穏やかでいくらか快活な性質を持ち、眠れぬ夜に気分の晴れるようなクラヴィーア曲」をバッハに依頼し、曲が出来上がりました。伯爵はこの曲を大変気に入って「私の変奏曲」と呼び、しばしばゴルトベルクに演奏するようにリクエストしました。

当時、ゴルトベルク少年は14歳でこれほどの難曲を弾けたとは思えないので、この話は本当かどうかという説もありますが、バッハがカイザーリンク伯爵に恩義を感じていたのは事実で、曲を献呈しようとするのは不自然ではありません。ゴルトベルク少年は少しずつ弾けるところから弾き、時間が経つにつれ上達し、伯爵を楽しませたことでしょう。

『ゴルトベルク変奏曲』は「アリア」「30曲の変奏曲」「アリア」の32曲で構成されています。主題であるアリアも各変奏曲も32小節で書かれています。演奏時間は60分位の大曲です。鍵盤楽器のために作った曲なので主にチェンバロやピアノで演奏されますが、多声部で書かれているので、弦楽三重奏版（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ）をはじめ、様々な楽器や編成で演奏することが可能です。

この曲の楽譜を見ると、練りに練った技にびっくりさせられます。全体は大きな2つのブロック（第1変奏～第15変奏、第16変奏～第30変奏）に分けられ、その30の変奏曲はこだわりの数字3を基にした数学的秩序を保っています。3の倍数（第3変奏、第6変奏、第9変奏…）ごとにカノンになるのですが、第3変奏では1度（同音）のカノン（同じ音程で追いかけっこ）、第6変奏では2度のカノン（追いかけるのは1音上の音程）、第9変奏では3度のカノン（追いかけるのは2音下の音程）というふうにカノンごとに1度ずつ音程が広がっていきます。第24変奏では8度のカノン、第27変奏では9度のカノンになります。では、第30変奏だと10度のカノンになるかということそうではなくて「クオドリベット（ラテン語で「好きなものをなんでも」という意味）」と書かれています。第30変奏のクオドリベットには2つのメロディが出てきます。「キャベツとかぶ」

という民謡を基にしたメロディと「長いことご無沙汰だったね、さぁおいでおいで！」というメロディです。後者のメロディは最初の主題（アリア）に呼びかけているのです。まさにバッハのユーモアです。楽しげですてきな曲です。そして、最後のアリア… 30の変奏を終えて冒頭と同じアリアが再び戻ってきた時、最初とは違ったふうに聴こえてくるようです。

『ゴルトベルク変奏曲』は1回聴いてわからなくても、繰り返し聴いているとじわじわと理解できるようになるようです。タンゴの巨匠ピアソラも生前「無人島にレコードを1枚持っていくとしたら？」という質問に「グレン・グールドの弾くゴルトベルク変奏曲！」と答えたそうです。秋の夜長の眠れない夜、お聴きになってみたらいかがでしょうか？（のん）

【編集後記】

今年9月にもいくつかの国際音楽コンクールがありました。ARDミュンヘン国際音楽コンクール（ドイツ）、ヴァイオリン部門で2019年3月第38回ジョイフルコンサートに出演された毛利文香さんがセミファイナル（6人）まで進まれました。残念ながらファイナル（3人）にはいけませんでした。すばらしい演奏をされていました。因みに優勝は岡本誠司さんでした。また、リーズ国際ピアノコンクール（イギリス）では小林海都さんが第2位に入賞されました。ジョイフルコンサートではこれからも才能ある若い演奏家の方々を皆さまにご案内できるよう努めていきたいと思っています。（のん）

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

■メールマガジン♪ジョイコン NEWS♪の感想などお寄せください。

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>
